



## 京都大学学術研究支援室活動報告

### 京都大学複雑系科学・未来創成学学際シンポジウム

京都大学基礎物理学研究所研究会

【複雑システムにおける創造的破壊現象の原理に迫る】

日時：2015年8月6～7日

場所：コープイン京都

京都大学未来創成学国際研究ユニット設置記念シンポジウム

【未来創成学の展望】

日時：2015年8月6日（木）18時～20時

場所：コープイン京都

本シンポジウムは、京都大学・研究連携基盤・未来創成学国際研究ユニット・基盤経費（平成27年7月29日通知、ユニット長：佐々木節）、京都大学・研究開発プログラム・研究支援制度【いしづえ】（平成27年7月31日通知、研究代表者：村瀬雅俊）による研究助成、京都大学研究強化促進事業学際・国際・人際融合事業「知の越境」融合チーム研究プログラム【学際型】SPIRITS（SPIRITS：Supporting Program for Interaction-based Initiative Team Studies）京都大学統合創造学創成プロジェクト（平成25～26年3月31日、研究代表者：村瀬雅俊）の研究成果に基づいて実施されました。

<http://www.nics.yukawa.kyoto-u.ac.jp/events.html>

[http://research.kyoto-u.ac.jp/service/topic/spirits/lists/h25list\\_j/sprits\\_h25ja\\_65\\_murase/](http://research.kyoto-u.ac.jp/service/topic/spirits/lists/h25list_j/sprits_h25ja_65_murase/)

京都大学未来創成学国際研究ユニット設置記念シンポジウム

【未来創成学の展望】

【未来創成学とは】

京都大学基礎物理学研究所の村瀬雅俊准教授が提唱する、新たな学問領域。これまでの科学が、過去の蓄積を積み上げた要素還元主義的なアプローチ手法によって発達してきたことに対し、「未来」は「現在」の思考によって形作られていくという考えをもとに、利益や効率、業績といったものを乗り越え、「こころ」を取り戻したサイエンスを目指した、未来志向の学問である。従来の細分化されたサイエンスだけではなく、あらゆる学問分野が連携して研究し、想定外の事態にも対処しうる未来を創成することを目指す。

日本では馴染みのない感覚だが、村瀬准教授によれば、欧米の大学などでは1940年代から未来創造的な活動を開始しており、産学連携分野などで成果を上げているという。1人ではできないことでも大勢が協力すれば達成できる。また、生物としての人間は、言語コミュニケーション力と共感力を持っており、こういった特性を十分に生かして未来を創り出すためには、絶え間ない探求が必要である。



村瀬雅俊准教授

【未来創成学国際研究ユニットとは】

京都大学が2015年7月28日、平成27年度からの5カ年プロジェクトとして設置を認めた、学問の領域を超えた学際研究ユニット。構成部局は基礎物理学研究所、経済研究所、数理解析研究所、人文科学研究センター、こころの未来研究センター、原子炉実験所、生態学研究センター、総合博物館、教育学研究科、思修館、理学研究科、情報学研究科と多岐にわたる。これまで深く交わることの少なかった物理学や心理学、看護学、社会学、教育学、博物学といった、多様な分野の領域間で対話を通じ、異分野を統合することの知的冒険によって、生命・物質・こころの世界、あるいは人間社会・教育・経済を貫く普遍法則や創発原理を探求し、未来を方向づけるパラダイム転換を図る。さらに、学問の「未踏領域」を「未来学への挑戦」として科学的に解明することを目指している。



大野照文・京都大学博物館前館長が提案したユニットのロゴ案  
未来へのつながりを意識し、「い」に無限大(∞)をあしらった

【ユニット設置記念シンポジウムの開催】



シンポジウムを前に挨拶する山極壽一総長

京都大学は2015年8月6日、「京都大学複雑系科学未来創成学学際シンポジウム」の一環として、未来創成学国際研究ユニットの設置を記念したシンポジウムを開催した。開会にあたっては、京都大学の山極壽一総長のほか、基礎物理学研究所の佐々木節所長、経済研究所の西村和雄特任教授、(株)京都クオリア研究所の長谷川和子取締役が挨拶。その後、京都大学総合博物館の大野照文前館長と同大学こころの未来研究センター鎌田東二教授、同大学生態学研究センターの高林純示教授の三氏が、それぞれ学問分野を超えた興味深い研究成果を発表した。いずれも奥深い内容で、各氏とも、すべてを説明しきるには時間が短かった。閉会にあたっては、ソニーコンピュータサイエンス研究所の茂木健一郎上級研究員、京都学園大学の篠原総一学長から、京都大学ならではの学際的なプロジェクト発進に期待を込めた激励のことばが贈られた。



茂木健一郎氏



篠原総一氏

【講演プログラム】

「進化の制約から人の学びを解き放つには？」

大野照文（京都大学総合博物館）

「未来創成学における身体の位置と力—身心変容技法と感覚価値—」

鎌田東二（京都大学こころの未来研究センター）

「生態系における生物間相互作用・情報ネットワーク」

高林純示（京大大学生態学研究センター）



大野照文氏



鎌田東二氏



高林純示氏

京都大学基礎物理学研究所研究会  
【複雑システムにおける創造的破壊現象の原理に迫る】

8月6日（木）

14：00－14：20

「複雑システム思考－未来創成学へのパラダイム転換」  
村瀬雅俊（京都大学・基礎物理学研究所）

14：20－15：00

「切り閉じとしての振る舞い」  
郡司幸夫（早稲田大学）

15：00－15：40

「情報のエンタングルメントによる間主観性の定量化」  
池上高志（東京大学）

16：10－16：50

「イノベーションの本質」  
山口栄一（京都大学）

16：50－17：30

「共創表現－場のファシリテーション技術－」  
三輪敬之（早稲田大学）

8月7日（金）

9：00－9：40

「自閉症スペクトラムと創造性」  
内海健（東京芸術大学）

9：40－10：20

「自己組織化再考－第二種自己組織化の可能性」  
津田一郎（北海道大学）

10：30－11：10

「幸福感・ソーシャルキャピタルの文化的基盤：  
文化心理学からの検討」  
内田由紀子（京都大学こころの未来研究センター）

11：10－11：50

「消費本能～お金の量と時間密度と交換速度」  
袖川芳之（京都学園大学）

13：00－13：40

「The overflow model of the evolution of  
consciousness」  
茂木健一郎（ソニー）

13：40－14：20

「動的過程の計算論」  
小林泰三（九州大学）

14：30－15：10

「非定常現象へのカオス理論の発展」  
相澤洋二（早稲田大学）

15：10－16：50

「大学という現場：なぜ教育と研究なのか」  
池田研介（立命館大学）

京都大学学術研究支援室（KURA）

〒606-8501京都市左京区吉田本町  
TEL：075-753-5108 FAX：075-753-5110  
contact@kura.kyoto-u.ac.jp